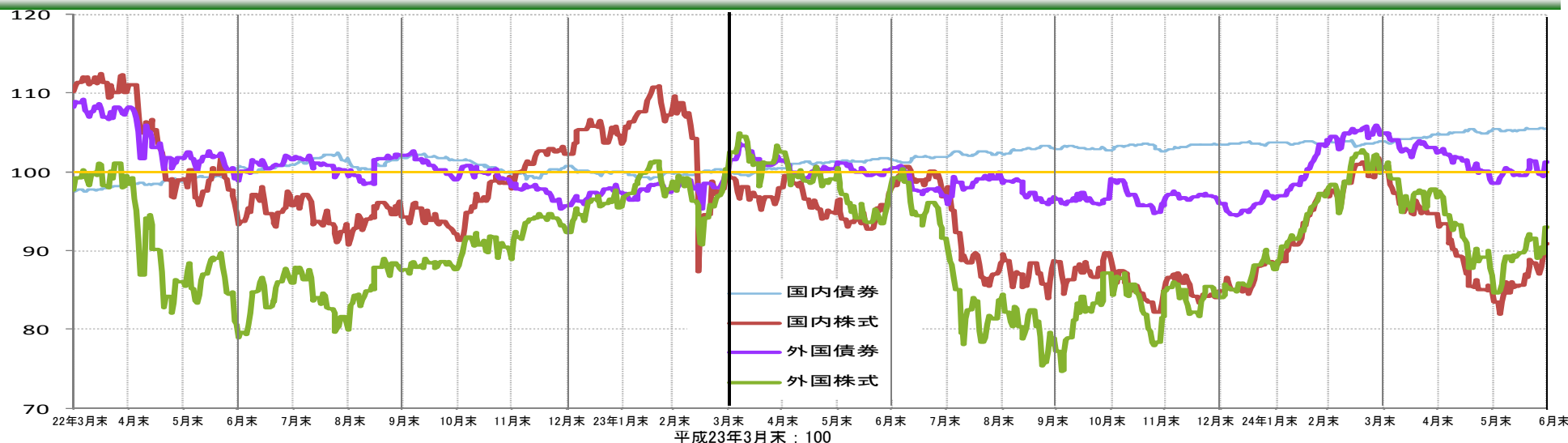


内外株式・債券のベンチマーク推移

資金運用委員会
第19回 (H24.7.19)

資料1

平成24年6月30日現在



資産区分	ベンチマーク	平成21年度	平成22年度					平成23年度				平成24年度
		3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	6月末
国内債券	NOMURA-BPI/Ladder 20年	145	150	152	150	149	151	153	154	155	157	157
国内株式	TOPIX(配当込み)	1,215	1,046	1,039	1,127	1,103	1,078	976	936	1,109	1,001	1,001
外国債券	シティグループ世界国債	314	289	297	278	291	292	281	279	305	294	294
外国株式	MSCI-KOKUSAI	1,181	975	1,057	1,116	1,209	1,187	934	1,017	1,215	1,124	1,124





(出典：Bloomberg等)

平成23年4月から平成24年3月までのベンチマークの動き

- 【国内債券】 国内の長期金利は、上半期においては、震災復興財源としての国債増発懸念が後退したことに加え、欧州債務問題の深刻化や長引く円高の進行などにより投資家のリスク回避志向が高まったことから、世界的に株式売り・債券買いが進行し、10年国債金利で一時1%を切る水準まで低下した。その後、1%前後の水準で推移し、期末は1%割れとなったことから、24年3月末のベンチマークは23年3月末に比べて上昇した。
- 【国内株式】 年度初めから弱含みで推移した後、8月には世界的な景気減速懸念や欧州銀行の資金繰り不安を背景に海外株式に歩調を合わせて急落した。その後も、弱含みの展開で推移したが、第4四半期に入ると、日銀の追加金融緩和発表などを背景に円安が進行したことなどにより、ベンチマークは年末までの下落分を取り戻すまで上昇し、24年3月末のベンチマークは23年3月末に比べてわずかに上昇した。
- 【外国債券】 対ユーロで大幅に円高が進行したものの、主要国の長期金利が大きく低下したことにより、24年3月末のベンチマークは23年3月末に比べて上昇した。
- ・米・独の長期金利は、世界的な景気減速懸念や欧州債務問題の拡大懸念から投資家のリスク回避志向が高まり、債券買いが加速したことから、一時1.7%を割る水準まで低下した。その後は、米国の金融政策や欧州債務問題の動向に敏感に反応する展開となった。
 - ・為替は、年度初めには、対ドルでは85円台半ばまで、対ユーロでは122円台まで円安が進行したが、米国経済の景気減速懸念や深刻な欧州債務問題から消去法的に円が買われる展開となり、対ドルでは史上最高値を更新した。第4四半期に入ると、欧州中央銀行の大量資金供給をきっかけとするギリシャ債務削減交渉への楽観的な見方の広がり、米国の好調な経済指標を背景に円安が進行し、対ドルでは前年度末近辺まで戻したが、対ユーロでは大幅な円高水準で年度末を迎えた。
- 【外国株式】 4月末まで上昇基調で推移した後、一進一退で推移し、8月以降は世界的な景気減速懸念、欧州銀行の資金繰り不安、米国価格下げなどにより各国市場が連動する形で急落したことに加え、円高の影響もあり、ベンチマークは大きく低下した。第4四半期に入ると、ギリシャ債務削減交渉への楽観的な見方の広がり、米国の好調な経済指標などから株価が上昇したことに加え、円安が進行したことにより、ベンチマークは急回復し、24年3月末のベンチマークは23年3月末に比べてわずかに上昇した。

平成23年度 長期給付積立金の運用状況(平成24年3月末現在)

1 資産構成割合の推移

	平成23年3月末			平成23年6月末			平成23年9月末			平成23年12月末			平成24年3月末		(参考)	
	時価総額	構成割合		時価総額	構成割合		時価総額	構成割合		時価総額	構成割合		時価総額	構成割合	中心値	許容乖離幅
国内債券	57,826	61.8%		57,618	64.2%		57,044	64.8%		56,328	64.9%		56,906	61.3%	63%	±6%
国内株式	11,100	11.9%		10,799	12.0%		9,868	11.2%		9,727	11.2%		11,665	12.6%	12%	±5%
外国債券	3,852	4.1%		3,873	4.3%		3,770	4.3%		3,800	4.4%		4,178	4.5%	5%	±3%
外国株式	9,182	9.8%		9,013	10.0%		7,262	8.3%		7,986	9.2%		9,570	10.3%	9%	±5%
貸付金	5,560	5.9%		5,113	5.7%		4,934	5.6%		4,772	5.5%		4,583	4.9%	6%	±3%
短期資産運用等	6,070	6.5%		3,376	3.8%		5,120	5.8%		4,172	4.8%		5,989	6.4%	5%	±2%
合計	93,590	100.0%		89,792	100.0%		87,999	100.0%		86,784	100.0%		92,890	100.0%	100%	—

(単位:億円)

注 それぞれの項目は、単位未満について四捨五入しているため、必ずしも合計と一致しない。

2 運用状況

〈修正総合利回り〉

(参考)

	平成23年度第1四半期 (4～6月)	平成23年度第2四半期 (7～9月)	平成23年度第3四半期 (10月～12月)	平成23年度第4四半期 (1月～3月)	平成23年度通期 (4月～3月)	平成22年度
国内債券	+0.99%	+1.08%	+0.24%	+0.47%	+2.82%	+1.92%
国内株式	△1.84%	△10.00%	△3.73%	+18.73%	+1.41%	△6.50%
外国債券	+0.63%	△4.02%	△0.54%	+8.61%	+4.56%	△6.73%
外国株式	△1.75%	△21.50%	+8.80%	+19.54%	+1.12%	+4.15%
貸付金	+0.60%	+0.60%	+0.60%	+0.59%	+2.40%	+2.40%
短期資産運用等	+0.01%	△0.07%	+0.07%	+0.14%	+0.15%	△0.03%
合計	+0.28%	△2.79%	+0.47%	+4.57%	+2.38%	+0.80%

$$\text{修正総合利回り} = \frac{\text{実現損益} + \text{未収収益増減} + \text{評価損益増減}}{\text{簿価平残} + \text{前期末未収収益} + \text{前期末評価損益}} \times 100(\%)$$